

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

薬品製造工場における  
ボイラー燃料のLPGへの転換事業

排出削減事業者名 :

アルプス薬品工業株式会社

排出削減事業共同実施者名 :

テス・エンジニアリング株式会社

その他関連事業者名 :

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	アルプス薬品工業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	上野工場
住所	〒 509 - 4263 岐阜県飛騨市古川町上野8番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	テス・エンジニアリング株式会社

## その他関連事業者

関連事業者名

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

薬品製造工場におけるボイラー燃料のLPGへの転換事業

### 2.2 排出削減事業の目的

工場での製造過程での環境負荷低減の活動として、温室効果ガス削減のために本事業を実施する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存機器より高効率な機器への転換により生産において排出する温室効果ガスを削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2011 年 1 月 1 日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013 年 4 月 1 日  
～ 2018 年 9 月 30 日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

なし

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

なし

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

本事業のバウンダリーは、燃料供給設備からボイラーまでとする。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 ・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel, PJ}$	事業実施後燃料の使用量	t/年	5,778.83	管理月報を確認する。	毎月
$\epsilon_{BL}$	事業実施前のボイラーの エネルギー消費効率	%	90.3	カタログ値をもとに算定 (高位発熱量基準)	—
$\epsilon_{PJ}$	事業実施後のボイラーの エネルギー消費効率	%	90.7	カタログ値をもとに算定 (高位発熱量基準)	—
$HV_{fuel, PJ}$	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/t	50.1	デフォルト値	1回/年
$CF_{fuel, BL}$	事業実施前燃料の単位発熱量当 たりの炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.07080	デフォルト値	1回/年
$CF_{fuel, PJ}$	事業実施後燃料の単位発熱量当 たりの炭素排出係数	t-CO2/GJ	0.06010	デフォルト値	1回/年

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO <sub>2</sub> 排出量
5,778.83	50.1	0.0601	17,400.1
t	GJ/t	t-CO <sub>2</sub> /GJ	t-CO <sub>2</sub>
EM <sub>PJ</sub>			

### 7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO <sub>2</sub> 排出量
7,475.6	38.9	0.0708	20,588.8
kl	GJ/kl	t-CO <sub>2</sub> /GJ	t-CO <sub>2</sub>
EM <sub>BL</sub>			

### 7.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO <sub>2</sub> 排出量
LE			

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	20,588.8
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	17,400.1
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	3,188

## 8 省エネルギー量

原油換算 (k1)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン － 実績 (①-②)

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間		2013	年	4	月	1	日	
		～		2018	年	9	月	30	日	
		エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)			原油換算 (kl)		
		(実績)			(実績)			(実績)		